研究の情報公開文書（website に掲示）

健診受診後の受療行動や生活習慣病関連アウトカムに関する分析

我が国では、40 歳以上の方々を対象に、生活習慣病を調べるための特定健診が実施されています。しかし、健診受診後に医療機関を受診したかどうか、その結果、生活習慣病の指標が改善したかどうかの検証が十分にされているとは言えません。本研究では、皆様の健診結果や医療受診の記録を活用し、健診受診後の受療行動や生活習慣病の状態を分析します。得られた結果は、全国土木健保組合のホームページなどでお知らせし、皆様の健康づくりに活用していただく事を期待しております。

本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施するものです。基本的に、全国土木健保組合にすでに保存されている医療情報をもとに行われるため、組合員や家族会員の皆様に新たにご負担をおかけすることはありません。一部の事業者に所属されておられる組合員様で御同意頂いた場合には、追加の質問紙調査にご協力頂きます。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが対象者の、プライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

この研究は、文部科学研究費により実施します。特定の企業からの資金提供は受けていません。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。

もし、下記の疫学研究にご自身の医療情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、分析の対象から除かせて頂きます。同意されない場合でも、不利益を被ることは一切ありません。また、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

＜概要＞「健診受診後の受療行動や生活習慣病関連アウトカムに関する分析」

研究期間：2016 年 10 月 14 日から 2023 年 3 月 31 日を予定しています。

対象となる医療情報：全国土木健保組合の組合員、家族会員の方々の特定健診結果、医療機関受診情報

医療情報は 2011 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までに記録された情報を利用します。

目的：健診受診後の医療機関への受診、その後の生活習慣病の変化を分析する

方法：既存の医療情報から、健診受診後の受療行動と以降の健診結果の関連を分析します。

個人情報：医療情報は匿名化され、個人情報から切り離されます。

問い合わせ先：

京都大学医学研究科人間健康科学系専攻

福間　真悟（研究責任者）

E-mail: fukuma.shingo.3m@kyoto-u.ac.jp

京都大学医学研究科 総務企画課　研究推進掛

Tel: 075-753-9301

E-mail: kikaku06@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp